

月刊

ボランティアと、
地域活動の情報満載。

ボラナビ

1月号

12月25日発行(第17号)

特集2000年だよ!「ボラナビの集い」

無料

INVITATION
EVENT
NEWS
MONTHLY
FREE PAPER

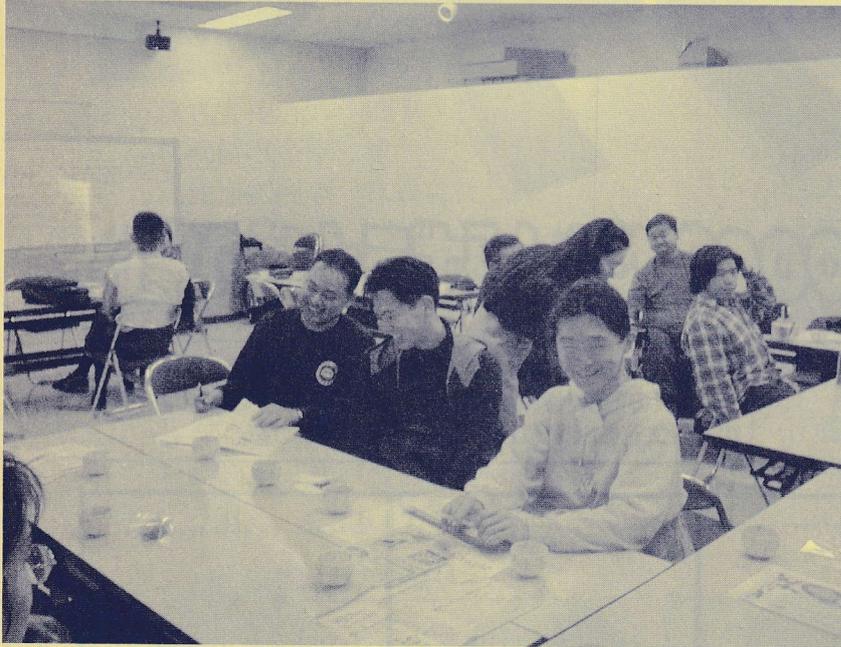
今月の表紙のイラストは北広島市にお住まいのSAYAMIさんです。犬の散歩と読書が趣味で、今はパソコンを勉強中。今回のイラストも、パソコンで描いて下さいました。



特集

2000年だよ!「ボラナビの集い」

99年の3月に試行錯誤の中で始めた「ボラナビの集い」。ボランティアに関心がある人たちの交流、情報交換の場として、たくさんの出会いをサポートし10回が過ぎました。今回は“2000年だよ!「ボラナビの集い」”ということで、新たな出会いに期待し、新年のボラナビのスタートをきりたいと思います!
(報告・青木 梢)



11月に行われたボラナビの集いには、読者30人が参加して下さいました。毎回、集いに足を運んでくださる方もいれば、初めての方もいます。

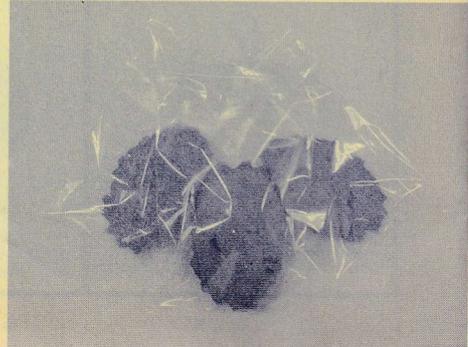
まずは参加者ひとりひとりの自己紹介。子供たちと一緒に自然について考え、星空観察などを行っている日本宇宙少年団の方、ボランティアについての卒業論文の参考に来た学生さん、バリアフリー住宅設計のため福祉への理解を深めようとした建築家の方など、様々です。

そのあとはPRタイム。自分の活動団体のPRやイベントの宣伝など、みなさんそれぞれが活発に活動している様子がうかがえました。中には、これからボランティアしたいと考えている方もいらっしゃったので、参考になったのではないかと思います。

休憩をはさんで、3つのグループに分かれました。「ジェンダーと福祉について」、「環境問題とボランティアについて」、そして、この日はマスコミでも度々取り上げられている、21歳で高齢者下宿を営む坂口知子さんがいらしていたので、坂口さんを囲んで話を聞くグループ。それぞれのグループは大いに盛り上がり、みなさん、時間がきても話し足りない様子でした。



『集いのお楽しみ、栄養士さんの手作りお菓子。今回は「フルーツケーキ」』



毎回、集いの後は会場近くの喫茶店でざっくばらんに語る2次会を行っています。ここでさらに交流を深め、「今度はこんなことやりたいね」などと盛り上がります。地域のコンサートを企画していた人に協力者が見つかったこともありました。



これからも、参加者のみなさんと一緒に、よりおもしろい「ボラナビの集い」にしていきたいと思っていますので、ぜひ一度、気軽に遊びに来て下さい。今年も「ボラナビ」をよろしくお願いします！

1月の ボラナビの集い

初心者歓迎!!

ボラナビ倶楽部あてに、郵送・Eメール・FAX
のいずれかで名前・所属・電話番号をご連絡ください。

●日時：1月29日(土)
13:30~15:30

●場所：環境サポートセンター
北区北7西5札幌千代田ビル1階
TEL 011-707-9025

●会費：500円・お茶と
お菓子付き



<アンケート結果>

みなさんが、どんな思いで集いに参加しているのかを知りたくて、アンケートをとらせていただきました。楽しかった・おもしろかった、という嬉しい声から、考えさせられる鋭いご指摘までありました。今後の集いに生かしていきたいと思えます。

●どのような目的で今回の集いに参加しようと思われましたか。

「どのような活動をしている人たちが集まり、どのようなボランティアがあるのか知りたくて」(21歳 学生)、「卒業論文の参考のため」(22歳 男 学生)、「イベントPRのため」(女)、「自分の活動の視野を広げたいので」(男)

●あなた自身のボランティアに関する意見、感想などをお聞かせ下さい。

「よほど興味がなければ、どこでどのようなボランティアを必要としているのかという情報はあまり入ってこないように思います」(21歳 女 学生)、「日本の中ではボランティアというものの定義が成り立っておらず、ボランティア=無償奉仕という堅いイメージがあるのが現状です。そのイメージを、新たに<誰もができるもの>とする事が、今、必要だと思います」(22歳 男 学生)、「私にもできる気軽なボランティアがないか知りたい」(女)、「ボランティア活動を通じていろいろな人と交流ができて楽しかった」(23歳 女)、「自分でもいろいろ団体を立ち上げているところです」(59歳 男 団体職員)

●「ボラナビの集い」および「ボラナビ」に関する意見、感想をご自由にお書き下さい。

「いろいろな人の活動や意識などを伺うことができてよかったです」(21歳 女 学生)、「ただ集うだけの会に終わらせず、それぞれの得意分野を生かし、目標設定し、進んでいけばいいと思います」(42歳 男 会社員)、「(紙面について)活動先によって区ごとに分けて載せてみては見やすいのではないかと」(22歳 男)



ここに掲載されている各情報は、日時、場所などが変更になることがありますので、事前に各連絡先まで確認してください。

イラスト：タケダミヲ

6/10
11

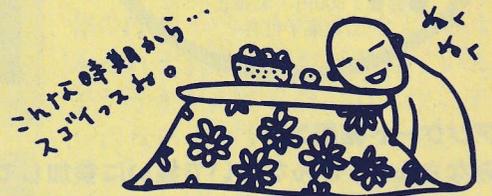
YOSAKOIソーラン祭り ボランティアスタッフ ボ集

●**内容**：輝楽々(キララ)★SHIROISHIチームでは、我がチームの一員として、踊り子ではなくボランティアスタッフとして祭りに参加して下さる方をボ集しています。内容は、大まかに分けて、大通りパレードの警備担当か、どうしても混雑するトイレ案内係です。どちらの担当になるかは時期が近くなるとわかりませんが、どちらも本当にこのお祭りには欠かせない必要な人です。また、こういう方々がいて、お祭りが成り立っている事も十分に承知しております。ぜひ、こういうかたちでYOSAKOIに参加してみたかったとお考えの方、くれぐれもご連絡をお待ちしております。

●**日時**：平成12年6月10日、11日

●**場所**：大通り公園周辺

●**問い合わせ先**：TEL 0705-607-0448 橋内(きつない)



1/16
17

「1.17 KOBEに“灯り”を」イベント参加&ボラ ボ集

●**内容**：平成7年1月17日午前5時46分、6,430人の尊い命が奪われ、50万棟を越す住宅が被害を受けた阪神・淡路大震災から早5年の月日が流れ、とりわけ北海道に住む私達は、距離的に遠いこともあってその悲惨な出来事を忘れがちです。しかしながら、被災地の神戸においては、毎年、その追悼行事が行われていました。北海道に住む私達も、震災5周年「1.17 KOBEに“灯り”を」の追悼行事に参加し、スノーキャンドルで神戸市民とともに鎮魂の祈りをささげ、この悲惨な出来事が色あせないようにしましょう。今回、この企画に参加して下さる方とお手伝いをして下さる方をボ集しています。

●**日時**：スノーキャンドルは、1月16日(日)17:46~18:46と17日(月)5:46~6:46の2回。
チャリティーコンサートは、16日(日)14:00~15:30

●**場所**：スノーキャンドルは、大通公園1丁目~11丁目。チャリティーコンサートは、道新ホール(中央区大通西3丁目)

●**申し込み・問い合わせ先**：「1.17 KOBEに“灯り”を」実行委員会事務局
〒069-0851 北海道江別市大麻園町 災害救援ネットワーク北海道 内
TEL 090-8274-8062 FAX 011-387-9483

常時 社交ダンスボラ 募集

●**内容**：女性ばかりの高齢者のグループホームです。社交ダンスを一緒に踊ってくれるボランティアの方を募集しています。上手で、リードして下さる方、男女は問いませんが、女性ばかりですので男性大歓迎です。日時をご相談に応じます。よろしくお願ひします。

●**場所**：南区内(ご連絡いただいた方にお知らせいたします)

●**お問い合わせ**：TEL090-9513-8614
(假名)

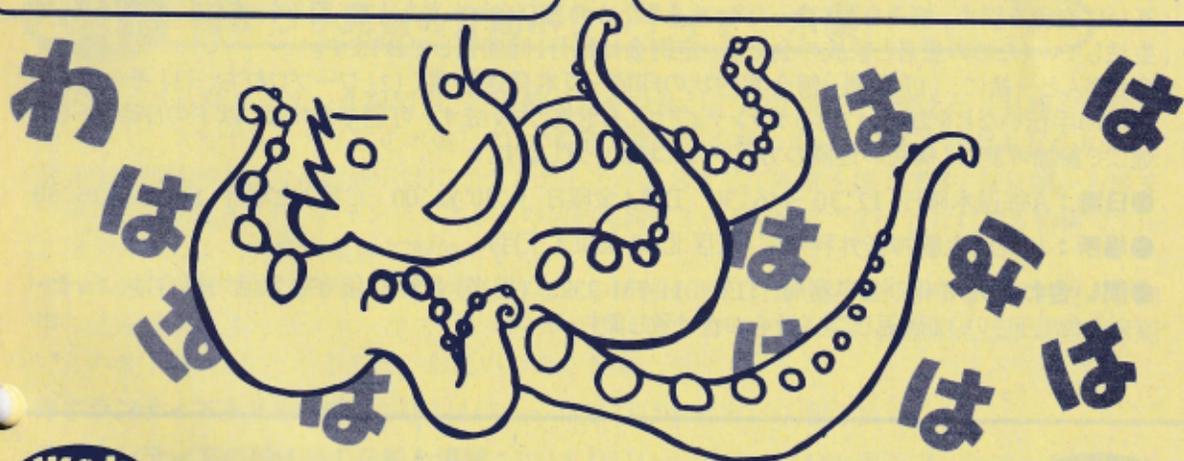


常時 病院の送り迎えドライバー 募集!

●**内容**：毎週火・木・土曜、江別市見晴台の自宅から市立札幌病院に透析のため通っている夫を車で送り迎えしています。しかし私自身、筋ジストロフィー症で運転がだんだんきつくなっています。これから冬を迎え、出発前の除雪も考えると心配です。そこで週に1度でもいいので、代わりに病院と江別の自宅の間の夫の送迎をしてくださる方はいらっしゃいませんか。どうぞよろしくお願ひします。

●**日時**：毎週火・木・土曜。朝6:50に家を出ます。自宅に戻るため病院を出るのは15時過ぎです。

●**連絡先**：TEL/FAX011-382-1426 (川北)



常時 日常生活のお手伝いをして下さる方 募集!

●**内容**：こんにちは。私は鹿野靖明(39歳)、筋ジストロフィー症で人工呼吸器を使用しています。本を読んだりといった日常生活のお手伝いをしてくださいませんか? 平日の火曜と水曜、日曜の夕方月2回以上入れる方。夜間は毎週定期的に日曜と月曜のどちらか入れる方を募集しております。

●**日時**：夕方(月2回以上)17:30～21:00 夜間(定期)21:00～翌朝11:00

●**場所**：西区山の手2条2丁目3-1 山の手団地1-8(地下鉄「琴似駅」から徒歩5分)

●**連絡先**：TEL 011-731-2802 (藤岡)

●**備考**：夜間(仮眠あり)のみ介助料は一晚5000円です。そのほかに交通費は夕方、夜間とも実費をお支払いいたします。時間、曜日、多少相談可です。半年以上続けられる方歓迎します。

常時**子供たちに昔の遊びを教える方 ボ集**

●**内容**：けん玉、めんこ、ヨーヨー等の昔遊び、工作や小物細工を子供たちに教えているグループです。主に市内の小学校や児童会館で活動していて、とても喜ばれています。すでに市内100人ほどの方が登録し、活動しています。ただ、1ヶ所に2、3人は担当したいと思っているのですが、人手が足りません。遊び道具が使えなくても、子供に昔話をしてくださるだけでかまいません。子供が好きで、子供から元気をもりたいという60歳以上の方ならどなたでも大歓迎です。親から子へ、子から孫へ、いま伝えないと途切れてしまいそうな大切な日本の心をあなた自身の手で子供たちに残して下さい。

●**問い合わせ先**：札幌市三世代交流協会（佐野）TEL 011-864-5038 または 011-893-7159

**常時****患者・家族会の運営のお手伝い ボ集**

●**内容**：「麻生社会復帰の会」は、札幌麻生脳神経外科病院に通院している患者さんと家族の方々が、互いに交流を深め、悩みを語り合ったり、生きるための喜びをわかちあって、明るく、楽しく、希望をもって生活していくための患者と家族の会です。定例会は毎月1回開催しております。

会員さんと一緒に、(1) 会報・例会案内状の印刷・製本発送作業、(2) ワープロ打ち、(3) その他、事務局の手伝いなどをお願いできるボランティアさんをボ集しています。可能であれば、以下の日時A～Cを通じて参加可能な、病院の近隣の方、よろしくお願致します。

●**日時**：A毎週木曜日 12:30～16:30 B第1金曜日 9:30～12:00 C第3金曜日 13:00～16:30

●**場所**：札幌麻生脳神経外科病院（東区北40条東1丁目）

●**問い合わせ先**：麻の会事務局 TEL 011-731-2323（担当 星野）留守番電話の場合は、メッセージを入れて下さい。折り返しこちらからおかけ致します。

**1/4
~6****環境パネル展・イベントボラ ボ集**

●**内容**：北海道 NGO グローバルトレインでは、カレンダーのリサイクルを通して、森林資源の活用とマングローブ植林運動などに協力しています。その活動の様子を伝えるパネル展とカレンダーのリサイクル市を行います。その際にイベントのお手伝いをさせていただくボランティアをボ集しています。作業内容は、カレンダーの仕分けと販売です。エプロンと薄手の手袋か軍手を各自で用意してください。

●**日時**：1月4日(火)、5日(水)、6日(木)の10:00～18:00 *各ボランティアさんの都合のいい時間帯で結構です。それぞれ30～40人程、手伝っていただくと助かります。

●**場所**：かでる2.7 2F ボランティアセンター（中央区北2条西7丁目）

●**問い合わせ先**：菅原邦治 札幌市白石区栄通り17丁目 スリランカカーリーの店 ポレポレ TEL 011-851-0086（水・木以外の18～20時）

常時

お年寄りのための催しを考え、また、宅老所を支えるボラ ボ集

●**内容**：この度、地域のお年寄りの方が楽しんでもらえる憩いの場を高齢者下宿に併設して、宅老所ユースフルデイズとして開設しました。

・「趣味会」…講師に絵手紙を習ったり、クリスマスキャンドルを作ったりと毎回いろいろなことに楽しみながら挑戦します。

・「おやつ会」…手作りお菓子を食べながら、みんなでおしゃべりを楽しめます。

このほか、「高齢者親睦会」「催し会」など、何度かすでに実施し、とても好評です。これからも様々な企画を考えていきたいと思っています。

この活動を支えるボランティア、もしくは宅老所を支えるボランティアに参加してみませんか？交通費や食事などは支給されませんが、お年寄りの方に喜んでいただけると、企画している私たちも、付き添っている私たちもとても励まされます。多くの方の参加をお待ちしています。

●**場所**：宅老所「ユースフルデイズ」 厚別区厚別南2丁目 17-14

●**問い合わせ先**：ボランティアサークル「ほらびねっと」 TEL 011-801-4977

●**備考**：活動日時は特に決まっていません。ボランティアとして参加したい方が、したいことをできる範囲で活動していただきます。

2/5 ~11

雪まつり見物の介助ボランティア ボ集

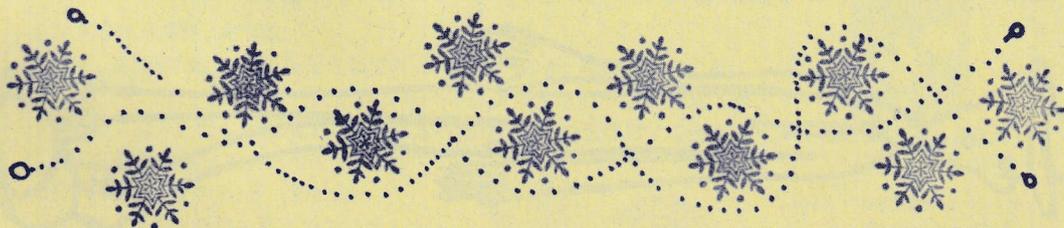
●**内容**：さっぽろ雪まつり期間中、ご高齢の方や身体の不自由な方と、雪まつり見物を一緒に楽しんで下さるボランティアをボ集します。雪道で車いすを押していただく介助が主となります。雪まつり開催中は、大通西6丁目にボランティアハウスとして本部を置きます。毎日朝から晩まで運営しておりますが、ボランティアさんの活動時間は3～4時間位です(1日だけでも結構です)。ご都合のよろしい時間に是非ご参加下さい。

それに先立ちまして、車いすの取り扱い方などの研修を兼ねた説明会を行います。説明会の参加申し込みは電話またはファックス、Eメールで受付けております。その他詳細も、お気軽にお問い合わせ下さい。どうぞよろしく願いいたします。

●**ボランティアをする日時**：2月7日(月)～13日(日)の雪まつり期間中

●**ボランティアの研修会の日時と場所**：1月9日(日) 10:00～15:00頃予定 かでの2・7(中央区北2条西7丁目) 大会議室か、1月16日(日) 10:00～15:00頃予定 札幌市社会福祉総合センター(中央区大通西19丁目) 視聴覚室
同じ内容ですので、どちらかにご参加ください

●**連絡先**：ボランティアサークル「手と手」 TEL/FAX 011-833-1733 気軽に街に出る障害者応援グループ「あしの会」内 E-mail: asanome-fam@pop21.odn.ne.jp



常時

お弁当の宅配ボラさん ボ集

●**内容**：ボランティアグループ「ニュートリケア」は、毎週土曜と日曜に高齢者や障害を持っている人にお弁当の宅配を行っています。自分の車を使ってお弁当を宅配してくれるボランティアさんをボ集しています。また、調理を手伝ってくれるボラさんも同時にボ集しています。

●**日時**：土曜または日曜日(月1回くらいでも可)

宅配は、昼食が11:00～12:00 夕食は15:30～16:30

調理はそれぞれ、9:00～と13:00～になります。

*昼食、夕食のどちらかでもかまいません。

●**宅配先**：東区内。1人5～8件くらい宅配します。

●**調理場所・宅配ボラさん集合場所**：東区伏古8条2丁目2-4 片桐さんの家

●**申し込み**：東区社会福祉協議会 TEL 011-741-6440

☆ボラナビスタッフより：土・日の活動なので、平日は仕事がある方でも大丈夫。ご家族一緒に参加することも可能です。お子さんも車に同乗して、一緒にお年寄りの家をまわるのもいいかもしれませぬ。



1/22

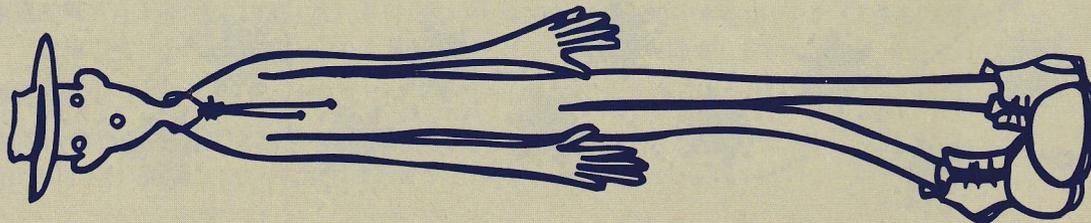
在宅支援スタッフ会員登録説明会

●**内容**：高齢者や障害者の通院送迎、家事支援及び身体介助をしてくださる有償スタッフの会員をボ集しています。説明会をしますので、ぜひいらして下さい。福祉に関心のある方、車の免許証のある方、福祉専門学生、各種の免許をお持ちの方、歓迎です。健康な方なら年齢は問いません。10人ぐらいです。

●**日時**：1月22日(土) 10:00～11:30

●**場所**：リンケージプラザ1階会議室(中央区北1条西9丁目)

●**申込先**：非営利活動団体ボランティア・21 TEL 011-666-2383 高井まで



1/15
16

冬休みファミリー劇場 「森のおくりもの」

●**内容**：毎年、冬休みに上演しているファミリー劇場「森のおくりもの」の11年目公演です。昨年に続き、耳の不自由な方にもお芝居を楽しんでいただけるよう、キャストごとの複数の手話通訳も行います。ぜひ一度、足を運んでみて下さい。

「森のおくりもの」…ロシアの児童文学者で詩人のS・マルシャークが書いた戯曲「十二の月」をもとに、北海道の子どものために、グループ森がオリジナルの脚本を作りました。

女王の命令で、ある年のおおみそか、あるはずのないマツユキ草を摘みにマーシャは真冬の森へ出かけました。そして九死に一生を得、十二の月の精たちのところにたどりつきます。すると森の奥に一時の春が訪れます。マツユキ草を摘んだマーシャは、精たちと大事な約束を交わし、森を後にしました。翌日、自分の目でマツユキ草を確かめなくなった女王は冬の森に。そこでどんなドラマが待っているかは、舞台でどうぞ。

●**日時**：1月15日(土) 18:30～ 16日(日) 10:30～と14:30～

●**場所**：札幌市サンプラザホール（北区北24条西5丁目）

●**入場料**：一席 2000円

●**主催・制作**：「森のおくりもの」上演実行委員会（グループ森）

〒064-0912 中央区南12条西11丁目 共育舎内 FAX 011-563-2985

●**備考**：耳の不自由な方には、事前にお申し込みいただくと、舞台も手話も観やすい席をご用意します。日時・観劇人数・連絡先を書いて、FAXかハガキでお申し込み下さい。チケットと座席予約券をお送りします。当日、両方をお持ち下さい。代金はチケットと一緒に送りする振込用紙をお願いします。

●**チケット取り扱い場所**：4丁目プラザ、大丸、YES、各プレイガイド、ローソン、絵本のお店「ぶっくはうす・りとるわん」。

郵送をご希望の方は、TEL 011-521-3919（グループ森）か TEL 011-563-3263（共育舎）まで。

☆ボラナビスタッフより

読者のみなさまに、「森のおくりもの」チケットプレゼントのお知らせです。住所、名前、電話番号を明記の上、FAXかハガキで1月7日必着で「森のおくりもの」上演実行委員会にご応募下さい。5人の方にチケットをお送りします（当選者の発表は、発送を持ってかえさせていただきます）。

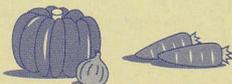
北海道

農業・農村の役割について、考えてみませんか。

日本の食糧基地、北海道。

でも、北海道に住んでる私たちが意外と知らないのが、農業や農村の姿。「身土不二」「四里以内で食をとれ」——昔から人はこう言い伝えてきました。自分と同じ気候風土で育った食べ物が、身体の生理によく合うことを経験的に知っていたのですね。

「作り手」と「食べ手」が一緒になって、
もっと、農業・農村を考えてみませんか。



「農業と、話をしよう。」

アグリカルチャー・マガジン「confa（コンファ）冬号」をご希望の方にお配りしています。

連絡先：北海道庁農政部農業企画室
「confa」係

札幌市中央区北3条西6丁目

TEL：011-231-4111（内線27-835）

1/15

「買ってはいけない」札幌講演会

●**内容**：コマーシャルから商品イメージばかりが流される一方で、消費者が本当に必要としている情報の多くは隠されています。食品や生活用品の安全性、そして、いま大きな問題となっている遺伝子組み換え食品について考えてみたいと思います。講師は序論が本多勝一氏(『週刊金曜日』編集委員)、講演が渡辺雄二氏(科学評論家)です。

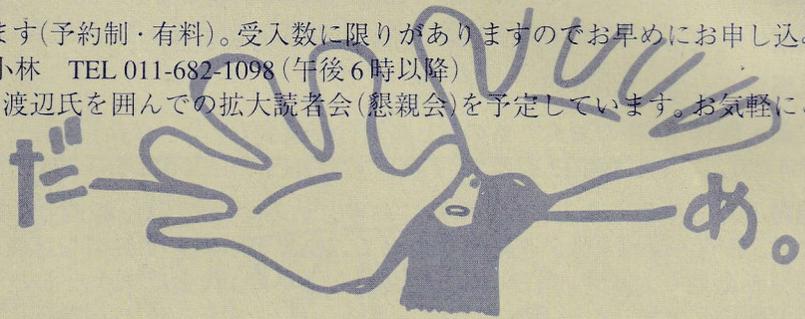
●**日時**：1月15日(土) 開場 13:00 開演 13:15 ~ 15:30

●**場所**：共済ホール(中央区北4西1全日空ホテル北向い)

●**参加費**：500円 チケットの取り扱いは、4プラプレイガイド、大丸プレイガイド、シアターキノ、エコ・ネットワーク(TEL011-737-7841)、生活クラブ第一センターで行っています。

●**問い合わせ**：生活クラブ第一センター TEL 011-665-1010(担当・森)か、神谷 TEL 011-667-5670

●**備考**：1. 託児があります(予約制・有料)。受入数に限りがありますのでお早めにお申し込み下さい。託児申し込み 小林 TEL 011-682-1098(午後6時以降)
2. 講演会の後、本多氏・渡辺氏を囲んでの拡大読者会(懇親会)を予定しています。お気軽にご参加ください(無料)。



1~2月

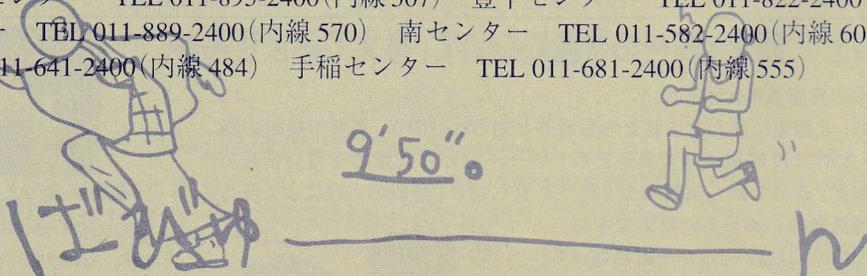
子育てボランティア講習会やります

●**内容**：乳幼児の子育てに関わるボランティアを始めたい方のための講習会を『託児』、『絵本の読み聞かせ』、『手作りおもちゃの紹介』の3つのコースに分けて行います。地域子育て支援事業での活動の体験もできます。

●**日時**：『託児』…1月25日、2月1日、8日の火曜日3回、『絵本の読み聞かせ』…1月26日、2月2日、9日の水曜日3回、『手作りおもちゃの紹介』…1月27日、2月3日、10日の木曜日3回、全て14:00 ~ 15:30

●**場所**：各センターに申し込み時にお問い合わせ下さい。

●**申し込み**：電話で1月18日まで(12月29日~1月3日は休み)に、子育て推進課各センターに申し込みして下さい。中央センター TEL 011-272-0355(直通) 北センター TEL 011-757-2400(内線415) 東センター TEL 011-741-2400(内線630) 白石センター TEL 011-861-2400(内線505) 厚別センター TEL 011-895-2400(内線507) 豊平センター TEL 011-822-2400(内線572) 清田センター TEL 011-889-2400(内線570) 南センター TEL 011-582-2400(内線607) 西センター TEL 011-641-2400(内線484) 手稲センター TEL 011-681-2400(内線555)



1/29.
30

NGOとこんにちは! NGOと屋台村

●**内容**：地域のNGOと全国規模で活動しているNGO、それぞれの活動を広く紹介します。活動への参加をちゅうちょしている方々に自分の活動の場となりうるNGOと出会っていただくための催しです。

① NGO屋台村(出展予定団体20)～各NGOが個々に活動の紹介と活動地域からの商品を販売します。

② JANIC 出前セミナー～NGOへの就職希望者および海外でのボランティア活動希望者、およびNGOを設立志望者への具体的な「How to」セミナーを実施します。

●**日時**：①は1月29日(土) 14:00～18:00 1月30日(日) 10:00～16:00

②は1月29日(土) 15:00～17:00 1月30日(日) 13:00～15:00

●**場所**：ホテルニューオータニ札幌 朝日ホール 中央区北2条西1丁目

●**申込先**：国際プラザ市民交流課 TEL 011-211-2105 *①は申込不要。直接会場へ。②のみ定員、各日50名(先着順)。1/11(火)からプラザ市民交流課へ電話でお申込下さい。どちらも参加無料です。

3月は、ボランティアさんが、卒業、就職'など'で
入れ替わる時期です。この頃に合せて、ボランティアを
募集したい、という団体、個人の方は、早め
にボランティアの情報をお寄せ下さい。



2月

やさしいメンタルヘルス講座

●**内容**：家族内人間関係を中心に、こころの問題を考えてみませんか。児童・思春期から老年期までのライフサイクルにそった問題を2月に4回シリーズで開催します。札幌市内にお住まいの方対象で、無料です。

●**日程とテーマ**：2月8日(火) 家族とこころの問題

15日(火) 親子関係を考える

22日(火) 夫婦で向きあえる関係を求めて

29日(火) 老いの理解

全て13:00～15:00です。

●**会場**：札幌市保健所3階研修室(中央区大通西19丁目)

●**問い合わせ・申し込み**：ハガキかFAXで、氏名、年齢、住所、電話番号を1月24日(月)までに札幌市精神保健福祉センター(保健所と同居所)に申し込んで下さい。定員50人です。

TEL 011-622-2561 FAX 011-622-5244

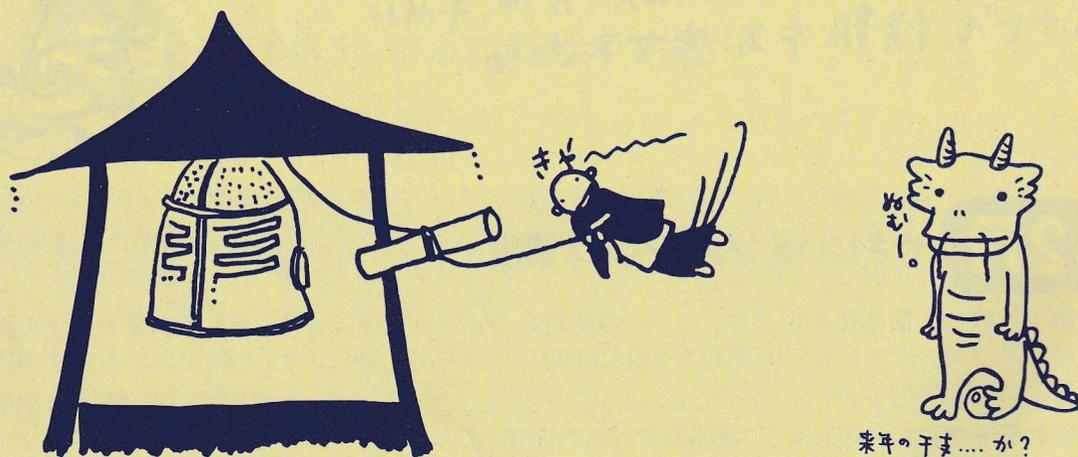
新聞切り抜き隊

新聞に掲載されていた記事をご紹介します。

栃木県のボランティア団体「とちぎボランティア情報ネットワーク・新聞切り抜き隊」がまとめた新聞の切り抜きを元にしています(99年の記事です。ご了承下さい)。実費をお支払いすると、新聞紙名のはいった記事のコピーを送っていただくことも可能です。お問い合わせは、TEL 028-622-0021まで

●栃木市社協の元職員二人が、お年寄りが生きる喜びを感じる施設を作ろうと、農家を改造して作ったデイホーム「たのし荘」を開設。篠原みどりさん(33)は約9年、寺内聡さん(25)は2年半の現場経験で、サービスされる側の負い目や対話不足を感じており、「生きがいづくり」を理念とする。市内の大工で作る高齢住宅の研究グループ「うだちの会」も協力。スロープづくりやトイレの改造、段差解消などの工事を行った。 問/0282-23-7655 (99/5/5 下野)

●「五体不満足」がベストセラーになるなど、障害を一つの個性と見る視点が注目される中で、障害者独自の価値と文化を探る「障害学」(ディスアビリティ・スタディーズ)という学問が活気づいてきた。障害者の独自性と主体性に着目、社会、文化、政治、経済などの視点からとらえ直す試みで、米国と英国を中心に展開してきた。日本では昨秋から東京都障害者福祉会館主催の連続講座が開かれ、今年4月には「障害学研究会」が発足、本(明石書店)も出版されている。(99/5/25 下野)



●立ち後れている日本の学校インターネット環境を市民レベルで改善・支援している全国のボラ活動グループが初めて一同に会する「ネットデイサミット」がこの夏、前橋市で開催される。「ネットデイ」とはボランティアが学校や教室に回線を引き、インターネット環境を格安で整える運動で、つないだ後もネット管理や現場教員への支援を続けるもの。米国では成果を上げている。8月8日に県社会福祉センターで行われるサミットは、群馬・福島・豊橋市などでスクールネットを支援してきた6団体が出席し報告する。(99/5/26 読売)

あつまれ！ なんでも掲示板

●交通事故などで脳に損傷を受けると、記憶や言語に障害を持つことがあります。しかし、この障害はまだあまり理解されてなく、就労などの際にトラブルが起こることも少なくありません。脳外傷の当事者やその家族で作る「コロポックルの会」では、勉強会や互いの情報交換に加え、障害の存在を知ってもらうための活動も続けています。会員の方(匿名)の文をご紹介します。

家族として、会の設立に参加して

「お母さん、記憶が消えるの。頭の中が真っ白になって、何も思い出せないの。繰り返し勉強したのも、初めてみるもののような気がする。説明しようとしても、言葉が出てこない。言葉の意味が分からなくなるの」。学校から帰ってきた高校2年の長女が、思いつめたような表情で、私に話したのは平成10年の10月頃の事だったのでしょうか。市内の交差点の赤信号で停車中に追突され、運転していた私は頸椎捻挫、右上肢不全麻痺、腰椎捻挫に、同乗していた長女は頸椎捻挫となった交通事故から1年4ヶ月ほど経っていました。救急車で運ばれた整形外科で1年以上もリハビリに通い、症状固定となってから、しばらくしてのことでした。長女の話に不安になった私は、主治医の先生に相談に行きましたが、整形外科ではそういった症状についてはわかりませんと言われ、途方にくれました。

そんなときに、「高次脳機能障害家族の会結成へ」という新聞の記事に出会ったのです。長女と共に出席させていただいた会合で、初めて、頭を強く「揺さぶられる」事によっておこる脳外傷や、その後遺症である高次脳機能障害のことを知りました。子供のために、そして私自身のためにも広い視野を持ちながら、家族の会の皆様と共に学んでいこうと思います。私達の前には、社会的無理解と闘いながら、力を合わせて脳外傷後遺症の困難な道を切り開いていった多くの人々がいるのですから。

●10月号で託児ボラさんボ集を掲載した、双子たちの親の会「ニューはまなすの会」の小林京子さんからいただいたお便りです。

ボラナビスタッフの皆さまへ

10月号での反響は大きくて、20人近くの方から連絡をいただきました。とても嬉しく、(男子学生の方も1人いたんですよ)世の中すてたもんじゃないなあーと再確認した次第です。幼児をもつ親にとって、安心してあずけられるところ、託児があるかどうかで、社会とのつながり、自分の世界を広げていけるかが決まるといってもいいほどです。有料ではベビーシッターさんやベビールームなどがありますが、1時間で千円近くするので、利用するのも経済的に大変なのです。特に双子や三つ子、兄弟がいる場合はよほどのことがない限り…。そうそう気軽には利用できません。(公的なものもほとんどないので)いつもボランティアさんを探すのに苦労していて、なかなか見つからないと、助けてくれる人っていないもんだナーと精神的ダメージもけっこう大きかったので、「ボラナビはすごい!!」と会のお母さんたちと喜んでいました。こういうフリーペーパーを作ってくれて本当にありがとう!よく考えついたなと思うし、よく続けていてくれるよと思うし、今の若い人たちのパワーはすごい!!と思っています。毎回、ボラナビをすごく楽しみにしています。自分にできること、ボランティアがないかどうか探したりしています。

ボラナビは、実に多くの人に、たくさんの出会い、挑戦、勇気、愛を与えてくれている貴重な情報誌だと思います。長く、広まってゆくことを祈っています。ありがとう♡

ボラナビブラウザ

犬とネコ4匹を飼っている老人保健施設、ディ・グリーンを訪問しました。彼らは愛くるしいしぐさでお年寄りを喜ばせるボランティアをしながら、自分たちも、専任のボランティアさんに、ずいぶん助けられているようです。



厚別区にあるディ・グリーン



福永さん(右)に勧められて、桃子に触れてみる利用者さん

犬の名前は華子と桃子、ラブラドルリトリバーの母と娘です。ネコの名前は太郎と愛、ノルウェージャン・フォレスト・キャットの兄と妹です。4匹は5年前からここで生活しています。

利用者さんに喜んでもらえれば、との考えで施設で飼われることになった彼らは、期待通りの活躍ぶりをみせています。施設で暮らす(もしくは通ってくる)お年寄りだけでなく、施設を訪ねてくるお年寄りの家族や職員にもかわいがられています。



ときどきしながら太郎に手を伸ばす子ども

でも、実は彼らには悩みがありました。犬の華子と桃子『もっと運動したいの。でも施設内を走るとみなさんに悪いし…』

昨年4月、ボラナビに、この施設でお年寄りと一緒に習字を楽しむボランティアさんのポ集が掲載されました。そのボランティアをしようと訪れた福永有希子さんは、華子と桃子にその悩みを相談されます(?!)。そこで、散歩やボール遊びを通して運動させるボランティアを始め、彼らの悩みを解決してあげました。

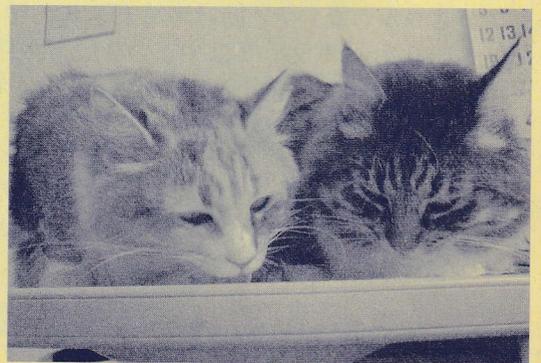
福永さん「犬が大好き。でも5年前に飼った犬が死んでショックだったので、もう飼うのはあきらめています。だからこのボランティアが楽しくて」。同じく犬好きの娘さんや息子さんもこのボランティアに参加し、毎週通ってきているそうです。



福永さん親子にボールで遊んでもらう

一方、ネコの太郎と愛の『誰か毛をとかしてくれないかしら。長すぎて自分じゃ手に負えないの』という悩みにもこたえて、ネコ好きの専任のボランティア水町さんが、毛をとかすために通ってくれているそうです。

こうして悩みが解決した彼らは、施設をよりアットホーム(家庭的)にする重要な役割を果たしながら、気ままに生活しているのです。



仲良しの太郎と愛

ボラナビの主な配付先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通り、札幌駅周辺のいくつかには住所も書いています)

●札幌市内と近郊の大学・専門学校●

大谷短期大学、札幌医科大学(本屋)、北海道女子大学、札幌学院大学(江別BBS)、札幌国際大学、天使女子短期大学、藤女子大学、北海道文教短期大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、札幌福祉専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道医薬専門学校、北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学

●スーパー●

北雄ラッキー、スーパーJOY、札幌東急ストア、ホクレンショップ・ホクレンディスカウントショップ、コープさっぽろ、SEIYU、マイカルSATY<以上のスーパーの市内全店>、札幌フードセンター(平岸、元町、澄川、北、新道、篠路、豊平、琴似、菊水、森林公園、カスタムー東苗穂、月寒中央)、マックスバリュ厚別

●書店●

本の岩本ー市内全店、紀伊国屋書店ー市内全店と小樽店、くすみ書房、ダイヤ書房(北25東8、発寒14条3丁目、川沿1条1丁目)、ピヴォブックセンター(南2西4ピヴォ6階)

●レンタルビデオ店●

TOWA・フォレストエージェー市内全店、TSUTAYA(北14東6、北3西28)

●CD店●

VIRGIN MEGA STORE(南1西3ラ・ガレリア地下1階)

●映画館●

松竹、S Y遊楽、札幌劇場、シアターキノ、東宝公楽、東映劇場

●銀行●

札幌信用金庫ー札幌市内と近郊全店、北海道銀行札幌市内と近郊全店

●病院●

手稲溪仁会病院、北海道循環器病院、市立札幌病院

●飲食店●

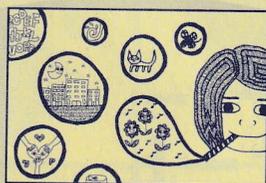
可否茶館ー市内7店舗、その他

●その他●

北海道環境サポートセンター(北7西5)、朝日カルチャーセンター(北2西1)、札幌国際プラザ(北1西3)、北海道電力(株)ー市内全営業窓口、琴似日食コンカリーニョ、道新文化センター(大通り西3)、ライラックパセオ、J Tインフォプラザ(南2西3)、さっぽろ村コミュニティ工房、JR琴似駅、JR新札幌駅

●市内公的施設●

70カ所(区役所、図書館、地区センター、市民活動プラザなどに配布をお願いしています)



イラスト：今井崎 亜紀さん

ボラナビでは、表紙の絵を募集しています。

応募の方は、ボラナビ倶楽部へB5以上の紙で描いた絵を郵送してください。紙は折らないようにお願いします。採用の方には、こちらからご連絡いたします。

先日ある方が「うちの施設は寄付金に助けられている。寄付者には手書きの礼状を送っている」と言っていました。きゃ～。その場に5メートル穴を掘って入りたくらい恥ずかしかったです。ボラナビも協賛金で運営が成り立っていますが、礼状どころか…申し訳ありません。

多くの方に助けられ、ボラナビは2度目のお正月を迎えることができました。みなさまにとって良い一年になることを心よりお祈りしています(なお、ボラナビ倶楽部は年賀状を出せ…出しません。新年もよろしく願います)。

森田麻美子

値下げしました。

読者の皆様へ

・ボラナビを定期的に欲しい方、お申込下さい。

ご希望の方は、郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望部数をお書き添えの上、1500円をボラナビの口座にお振り込みください(口座番号は最終ページにあります)。6カ月間お届けします。

・「月刊ボラナビ」バックナンバーさしあげます。

バックナンバー(古い号)も配送します(創刊号と3、12号は品切れしてしまいました)。郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望する号と部数をお書き添えの上、ボラナビの口座にお振り込みください(金額は…おまかせします)。

・「月刊ボラナビ」に広告を載せませんか？

ボラナビでは広告掲載を始めました。縦4センチ横13センチで6万円です(版下制作費込み)。「月刊ボラナビ」への協賛の意味が強く、金額は若干高めに設定させて頂いています。企業の方には負担をおかけしますが、このほうが広告の数が限られ、目立ちます！掲載希望の際はご連絡下さい。

※「月刊ボラナビ」は毎月25日に、2万5千部発行しているボランティアと地域活動の情報誌です。札幌市内の大学、書店、スーパー、社会福祉協議会などを中心に、350カ所で無料配布しています。

協賛してくださった方々 (順不同)

- ・札幌公務員受験学院 様
- ・よつ葉乳業株式会社 様
- ・池田 千枝子 様
- ・北門信用金庫まちづくり基金 様
- ・早稲田経営学院 様
- ・株式会社ワークボックス 様
- ・株式会社ホクレン商事 様
- ・札幌信用金庫 様
- ・北海道紙商事 株式会社 様
- ・株式会社シムス 様
- ・株式会社土屋ホーム 様
- ・中道リース株式会社 様
- ・札幌中央郵便局 様
- ・株式会社大元 様
- ・住友石炭鉱業(JOYスーパー) 様
- ・札幌通運労働組合 様
- ・高垣 正計 様
- ・進藤 芳彦 様
- ・マイクロソフト株式会社 様
- ・札幌すすきのライオンズクラブ 様
- ・城宝 和茂 様
- ・北雄ラッキー株式会社 様
- ・北海道土質コンサルタント株式会社 様
- ・真屋 幹雄 様
- ・株式会社リクルート北海道じゃらん 様
- ・株式会社あるた出版 様
- ・ほくでんぼるねっと 様
(北海道電力内ボランティアサークル)
- ・北海道共同募金会 様
- ・NPO越智基金 様
- ・赤帽北海道事業本部 様
- ・幡本印刷株式会社 様

協賛協力をお願い

ボラナビの発刊は企業・グループや個人からの500円からの協賛金でまかっています。1万円協賛いただいた社(方)の名前は誌面で紹介させていただいています。継続的な御協賛をお願いします(数号分まとめたの振込みも可能です。政治や宗教団体などは、お断りさせていただく場合があります)。

■郵便局口座番号：02700-1-5671

■北洋銀行口座名(普)：札幌駅北口支店 123-0118625
(ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■北海道銀行口座番号(普)：札幌駅北口支店 152-0816050
(ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■加入者名：ボラナビ倶楽部

情報提供のお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだと嬉しい!)。掲載料は無料です。読者の声等への投稿もお待ちしています(発行日ひと月前までをお願いします)。なお、送られた原稿はスペースの関係等により、主旨をそこなわない範囲で書きなおす場合があります。あらかじめご了承ください。

月刊 ボラナビ

■発行：ボラナビ倶楽部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

北海道NPOサポートセンター内(南向き)

FAX専用：011-716-2899(電話はかかりません)

■発行日：1999年12月25日

■定価：無料

■代表：森田麻美子

■印刷所：幡本印刷株式会社

ホームページアドレス

<http://www.infosnow.ne.jp/~volunavi/>

メールアドレス

volunavi@mb.infosnow.ne.jp

ボラナビ

札幌通運50周年記念

指揮・編曲・編曲 南安達

札幌 チャリティー コンサート

チケット完売・御礼

11月にkitara大ホールで行われたチャリティーコンサートのチケットは全席完売いたしました。売上金は、すべて北海道共同募金会に寄贈し、知的障害者の授産施設のために活用していただきます。

御協力いただいたみなさまに心より厚くお礼申し上げます。

札幌通運コンサート事務局